

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
3月定例会 議案等審議結果一覧	3
令和2年度予算審査	4・5
主な質疑	5
烏山高等学校との意見交換会	6
議場コンサート	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

# 議会だより

発行  
那須烏山市議会  
編集  
議会広報委員会  
事務局  
☎0287-88-7114



烏山高等学校と市議会との意見交換会(令和2年1月25日)

3月定例会が2月25日(火)に招集され、3月11日(水)までの16日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は3ページに掲載しています。なお、今定例会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用での運営となりました。

※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第17号」をご覧ください。  
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

## 一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字の項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容を掲載していますので、そちらもご覧ください。

<p>3 同行避難について</p> <p>2 ペットの終生飼養と災害時の対策について</p> <p>1 健康被害対策、「ながらスマホ」対策について</p> <p>2 スマホ等におけるSNS犯罪被害対策、ゲーム依存症対策</p> <p>1 少子化における少母化対策と子宮頸がん予防対策について</p> <p>3 青木 敏久 議員</p>	<p>7 小中学生の不登校の現状と、その対策について</p> <p>6 小学校のプログラミング教育について</p> <p>5 全国体力テストの結果について</p> <p>4 学校給食費の見直しについて</p> <p>3 県立烏山高等学校入学希望者対策について</p> <p>2 国土強靱化地域計画の策定について</p> <p>1 令和2年度の重点事業について</p> <p>4 中山 五男 議員</p>	<p>4 令和2年度から小学校で必修化されるプログラミング教育について</p> <p>3 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について</p> <p>2 指定管理者施設の現状と今後の対策について</p> <p>1 交流人口の増加対策について</p> <p>3 村上 進一 議員</p>	<p>1 令和2年度の市政運営方針について</p> <p>2 優先的に取り組む重点事業について</p> <p>1 令和2年度の市政運営方針について</p> <p>2 相馬 正典 議員</p>	<p>3 那須烏山市内の道路管理について</p> <p>2 那須烏山市の農業について</p> <p>1 庁舎整備について</p> <p>6 堀江 清一 議員</p>	<p>1 令和2年度の重点事業について</p> <p>2 2022年、国民体育大会障害者スポーツ大会における会場変更について</p> <p>3 市の情報発信について</p> <p>1 将来の広域的な合併について</p> <p>2 滝口 貴史 議員</p>	<p>1 台風19号被害復旧工事の進捗について</p> <p>2 未来に希望が見えるまちづくりビジョンについて</p> <p>3 健康マイレージ事業のレベルアップについて</p> <p>1 小堀 道和 議員</p>	<p>1 シティプロモーションと観光情報の充実について</p> <p>2 防災対策と災害時の被災者への対応について</p> <p>7 荒井 浩二 議員</p>	<p>7 大桶運動公園の復旧について</p> <p>6 水害対応について</p> <p>5 GISの利用について</p> <p>4 職員駐車場の在り方について</p> <p>3 職員による固定資産税の減免について</p> <p>2 スクールバスの運行について</p> <p>1 予算編成について</p> <p>1 予算編成について</p> <p>2 スクールバスの運行について</p> <p>3 災害による固定資産税の減免について</p> <p>2 職員駐車場の在り方について</p> <p>4 職員駐車の在り方について</p> <p>5 GISの利用について</p> <p>6 水害対応について</p> <p>7 大桶運動公園の復旧について</p> <p>1 新年度の重点事業について</p> <p>2 「那須烏山市立地適正化計画」について</p> <p>3 本市の農業振興対策について</p> <p>4 「那珂川緊急治水対策プロジェクト」について</p> <p>5 新たな広域連携の推進について</p> <p>6 「全世代型社会保障」について</p> <p>1 平塚 英教 議員</p>	<p>1 骨髄バンクドナー登録及び骨髄移植後の支援について</p> <p>2 アレルギードメイン対策について</p> <p>3 太陽光発電対策について</p> <p>1 矢板 清枝 議員</p>
---	---	--	---	--	---	---	---	---	---

### 議会の動き

令和2年1月

25日○議会だより第55号発行

○烏山高等学校との意見交換会

2月

18日○議会運営委員会

○議員全員協議会

○庁舎整備検討特別委員会

○文教福祉常任委員会

25日○第2回3月定例会(3月11日まで)

26日○議会広報委員会

27日○議場コンサート

28日○議員全員協議会

3月

4日○各常任委員会(5日まで)

25日○議員全員協議会

○庁舎整備検討特別委員会

○総務企画常任委員会

4月

8日○議会広報委員会

14日○議会広報委員会

16日○議会運営委員会

21日○議員全員協議会

○庁舎整備検討特別委員会





になるような活動にすべきと考える。そのために健康マイレージ事業に万病予防に効果大の1日8千歩歩き20分などの歩き方健康法採用や我が市の誇れるふれあいの里、いきいきサロン事業などを全面的に取り入れた健康マイレージ事業で全国トップクラスのまちづくりが実現すると思うが見解を伺う。

**(答)** 健康マイレージ事業拡大のため、高齢化が進む本市に歩き方健康法を生かす方法を推進協議会で協議する。また従来のウォーキングコースのほか、複数の観光ルートを設定したまちなか観光ネットワーク等も活用し、ヘルスツーリズムとして関係機関と協議し健康増進を図っていく。さらに、ふれあいの里、いきいきサロン参加者にポイント付与も検討する。引き続き、健康マイレージの周知を図り、介護予防施策の充実に努め、市民の健康づくりを推進していく。

**矢板 清枝 議員**

**骨髄バンクドナー登録及び骨髄移植後の支援について**

**(問)** ドナー登録の実態に対する認識や造血幹細胞移植数、ドナー登録数を伺う。

**(答)** 平成30年12月末現在、県のドナー登録者数は1万9373人で、全国2位と高い状況である。県北管内の新規登録者は6名であり、本市での骨髄提供者は、平成25年度から29年度までの5カ年間で9名である。



GIS(地理情報システム)を利用した図面

**渋井 由放 議員**

**GISの利用について**

**(問)** GISを利用する際の図面は、税務課は200円で農政課は無料である。なぜか説明を願いたい。

**(答)** 今後は、手数料条例に基づき農政課でも手数料を徴収していきたい。

る。骨髄を提供する場合、複数回病院に向き7日から10日間の期間が必要になるため、事業主の方には、有給休暇制度の中の骨髄ドナー休暇制度の導入をお願いし、提供者本人、事業者に対して助成制度を設けている。今後も、ドナー登録等に関して情報提供、周知していく。

**(問)** 20歳未満の骨髄移植後のワクチン再接種への助成について本市の考えを伺う。

**(答)** 全国では253の自治体で、ワクチン接種費用の助成を行っている。栃木県内では、4市に助成制度がある。本市では、保護者や御家族に寄り添うとともに、県内市町の動向を注視し、助成に向けて検討する。

**荒井 浩二 議員**

**シテイプロモーションと観光情報の充実について**

**(問)** 定住促進策という観点から企画している新たなシテイプロモーション事業の概要と方向性を伺う。

**(答)** 今まで主に市外に向けていたプロモーションを、今後は市内に向けて行うことにより、郷土愛を醸成し、結果的に活動を市外に拡散していくことを狙って情報を発信していく。

**(問)** SNS等のウェブサービスに市内の飲食店や商業者の情報を掲載し、消費者や業者間のニーズを

マッチングさせるための施策を行うことは可能か伺う。

を徴収していきたい。  
**(問)** いずれ手数料を値上げしてくるだろうと私は仮説を立てた。市長が全てのものをゼロから見直し検証する。または、職員が検証することを期待した。しかし、農政課の手数料の徴収が出てきていなかった。これは、トップマネジメントや、内部統制が出来ていない証拠である。今後は、サービスを見直すときにはゼロベースで見直してもらいたいと思うがどう考えるか。  
**(答)** 手数料を見直す際に見落としした。今後は、慎重に確認する。  
**(問)** 条例が否決されるおそれがあるので議論を深めたい。それが良いのではないかと提案をしたが、取りつく島がなかった。議決結果は、11対5で否決になった。今後は、議会としっかり話をしたい。

**3月定例会の本会議日程と傍聴者数**

月日	内容	傍聴者数	月日	内容	傍聴者数
2月25日(火)	開会・上程・採決・付託	3人	2月28日(金)	一般質問	11人
2月26日(水)	一般質問	13人	3月3日(火)	予算総括質疑	2人
2月27日(木)	一般質問	13人	3月11日(水)	上程・報告・採決・閉会	2人
計					44人

力をお願いしたいと考えている。  
**(答)** 事業者が依頼し、協力をお願いしたいと考えている。  
**(問)** 新防災システムの利用登録者数が930件と少ない。介護予防・日常生活支援総合事業を通じた高齢者の登録補助はできるか。  
**(答)** 事業者が依頼し、協力をお願いしたいと考えている。  
**(問)** 市として特定店舗の応援は出来かねるが、口コミマーケティングの効果は非常に重要であると考えている。まず、民間レベルで気運を盛り上げていただければ、参加はしやすい。  
**防災対策と災害時の被災者への対応について**  
**(問)** 新防災システムの利用登録者数が930件と少ない。介護予防・日常生活支援総合事業を通じた高齢者の登録補助はできるか。  
**(答)** 事業者が依頼し、協力をお願いしたいと考えている。

**3月定例会 議案等審議結果一覧**

(全会一致)			審議結果			審議結果		
議案等	審議結果	議案等	審議結果	議案等	審議結果			
議案第32号 人権擁護委員候補者の推薦について	可決	議案第30号 那須烏山市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決	議案第9号 令和元年度那須烏山市一般会計補正予算(第5号)について	可決			
議案第17号 任命等対象者における学識経験者等の見直しに伴う関係条例の整備について	可決	議案第9号 令和元年度那須烏山市一般会計補正予算(第5号)について	可決	議案第10号 令和元年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決			
議案第18号 地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	可決	議案第10号 令和元年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第11号 令和元年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算(第1号)について	可決			
議案第19号 那須烏山市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	可決	議案第11号 令和元年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第12号 令和元年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決			
議案第20号 那須烏山市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	議案第12号 令和元年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第13号 令和元年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決			
議案第22号 那須烏山市債権管理条例の一部改正について	可決	議案第13号 令和元年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	議案第14号 令和元年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可決			
議案第31号 那須烏山市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	可決	議案第14号 令和元年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可決	議案第15号 令和元年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第4号)について	可決			
議案第23号 那須烏山市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	可決	議案第15号 令和元年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第4号)について	可決	議案第3号 令和2年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算について	可決			
議案第24号 那須烏山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	議案第3号 令和2年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算について	可決	議案第6号 令和2年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計予算について	可決			
議案第25号 那須烏山市放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正について	可決	議案第6号 令和2年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計予算について	可決	議案第7号 令和2年度那須烏山市下水道事業特別会計予算について	可決			
議案第26号 那須烏山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	議案第7号 令和2年度那須烏山市下水道事業特別会計予算について	可決	議案第16号 那須烏山市予防接種健康被害調査委員会設置及び運営条例の制定について	可決			
議案第28号 那須烏山市企業の誘致及び立地を促進する条例の一部改正について	可決	議案第16号 那須烏山市予防接種健康被害調査委員会設置及び運営条例の制定について	可決					
議案第29号 那須烏山市道の構造の技術的基準及び道路標識の寸法に関する条例の一部改正について	可決							

**(起立による採決)**

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋井由放	久保光郎	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第21号 那須烏山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号 那須烏山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号 令和2年度那須烏山市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 令和2年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 令和2年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 令和2年度那須烏山市介護保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 令和2年度那須烏山市水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で沼田議長は表決に加わらない。 ※議案第1~第8号、第16号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決。

# 令和2年度予算審査

令和2年度一般会計、6特別会計、水道事業会計の予算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等、本会議において報告された内容を掲載します。

## 総務企画常任委員会

◎所管する課等  
総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

### 総合政策課

◎一般会計における令和2年度末市債残高見込額が初めて当初予算額を下回ったことは、財政の健全化に向け日々努力された結果だと思われる。一方で、厳しい財政状況はまだまだ変わらず、公共施設等総合管理計画においては、将来更新費用について年間16億9千万円の不足を見込んでいることから、現在の財政状況を検証し、今後も適正な行政運営を進められたい。

◎ふるさと応援寄附金の増加に向け、大きな目標値を設定し、体験型の返礼品を追加するなど本市らしい魅力あるものに範囲を広げて検討されたい。

◎ホームページのリニューアルに際し、市のイメージを前面に出すような工夫をするともに、現在よりもさらにわかりやすく使いやすい構成となる

し、定住者の増加を目指していただきたい。

### 総務課

◎防災行政無線に代わり、新たな防災情報システムを構築されたが、「防災Infoなすからすや」の登録を推進するため、目標値を設定し、多くの市民が使用できるように丁寧な説明をしながら、登録促進及び戸別受信機の有効活用を図りたい。また、南那須地区におけるサイレン吹鳴システムの整備にあたっては、地域住民の意見を十分反映し、構築されたい。

◎シティブロモーション事業については、那須烏山市の情報を魅力的に発信できるような方策を検討し、目標値を設定した上で関係人口が確実に増やせるよう努力されたい。

◎定住希望者に対し、自治会や地域との関わり方のアドバイスや、定住した際のアフターフォローなど、定住者に寄り添った対応に努められたい。また、那須烏山市ならではの独自性を積極的にPR



防災Infoなすからすやの登録用QRコード

見直しに伴い、戸別訪問等を全て職員が対応することとなるが、効率的な徴収に努め今後も収納率の改善に尽力されたい。

### 会計課

◎収納業務において、担当課と連携し口座振替の推進を図るなど、利便性の向上、現金管理のリスク低減及び窓口業務の改善に向け努められたい。

## 文教福祉常任委員会

◎所管する課  
市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課

### 市民課

◎熊田診療所については、地域に根差した診療所として存続していくことができるよう、これまでの予算及び決算審査においても意見してきたところである。しかしながら、市の人口減少や市民の医療への意識やニーズの変化もあり、診療件数が減少し、一般会計からの繰入金や運営基金の取り崩しに依存した運営が続いている。間もなく運営基金が枯渇することが予想される財政状況を踏まえ、令和2年度中に、熊田診療所の今後の方向性について検討することを要望する。

### 健康福祉課

◎支援を必要とする高齢者世帯が増加傾向にあるが、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、民

生委員を含めた地域住民による支え合いと公的支援が連動した包括的な支援体制の構築を目指し、地域包括ケアシステムのさらなる強化に取り組みたい。また、地域包括ケアシステムは、高齢者だけでなく、障がい者、ひきこもりの状態にある方、生活困窮者等、対象を広く捉えて推進されたい。

### こども課

◎今年度の市の出生数は100人を下回る見込みで、非常に憂慮すべき事態である。出生数の加速度的な減少は、将来の地域経済や市民生活に与える影響が大きく、その対策は本市における最重要課題の一つである。出生数減少の要因は様々あるが、一因である未婚化・晩婚化・晩産化対策のため、他自治体の成功事例等を調査研究し、時代に即した多様な結婚支援の方策に取り組みたい。また、そこに端を発し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、切れ目のない支援のさらなる推進を図られたい。

### 生涯学習課

◎公民館や運動施設の使用料は、利用者と未利用者との負担の公平性を確保するため、受益者負担の原則に基づき、厳正に設定されたい。また、使用料の減免は、特例的な措置であることを前提に、明確な基準を定めて適用されたい。

### 学校教育課

◎中学生の海外派遣及び広島平和記念式典派遣は、厳しい財政状況の中にあるが、貴重な体験を得るため、予算を捻出し実施している。過去において、両方の事業に派遣した生徒が



広島平和記念式典への派遣

いるが、限られた市の予算を公平公正に支出することができるよう、派遣する生徒の選出に配慮をされたい。また、財政状況を踏まえ、事業規模や生徒の自己負担のあり方を検討されたい。

## 経済建設常任委員会

◎所管する課等  
農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

### 農政課

◎農政課の通常業務に加え、台風19号による農地・農業用施設災害復旧事業に関して職員に大きな負担が課せられているが、農政課が中心となり各課連携し、総力を挙げて復旧に向け努力されたい。

◎農業従事者の高齢化、後継者不足により遊休農地が増えつつある。今後は遊休農地の増加を抑止するため、本市のブランド品創出に繋がる特産品の開発や農地付き住宅取得制度等を活用した新規就農者の確保、交流人口の増加、定住促進及び都市農村交流等に努められたい。

◎元気な森づくり推進事業と森林環境整備促進事業の2つの事業を有効活用し、積極的な事業推進を図り、とちぎの元気な森づくり県民税の市民負担分以上の事業に取り組みられたい。

◎令和元年度に観光協会の機能強化及び経営改善に向けた現状分析を行った結果、多くの課題があることから、今後は検証結果に基づき体質改善を進められ、観光協会と商工観光課の役割を明確にし、本市の観光振興と観

光入込客の増大を目指し努力されたい。

○老朽化が著しい龍門ふるさと民芸館について、多額の費用をかけ大規模改修事業を実施する予定であるが、改修後は本市の観光振興拠点として交流人口を増やすような検討を進められたい。

○令和元年度をもってベンチャープラザ那須烏山が廃止されるが、今後も創業者支援を引き続き実施されるとともに、令和2年度から本市の喫緊の課題でもある事業承継に関する支援が開始される。創業者支援及び事業承継支援について、事業者等に周知するとともに、商工会と連携して地域経済の活性化を目指し取り組みられたい。



ベンチャープラザ那須烏山

都市建設課

○台風19号により、家屋や公共施設等が浸水し被害が生じたことから、災害に備え、排水設備に関する操作訓練を実施予定であるが、これからも予想される降雨災害等に備

え、都市建設課と関係各課が連携を図り、防災マニュアル等を作成して今後の災害対策に取り組みられたい。

○令和2年度より2巡目となる橋梁点検、老朽化する道路施設の維持管理及び維持補修に関して多額の経費を要することが想定される。厳しい財政状況を踏まえ、有利な交付金事業等を活用し、財源確保に取り組みられたい。

○国、県が実施する道路や河川等事業について、市は事業主体ではないが市民の要望に応えられるよう、できる限り協力して完成に向け取り組みられたい。

上下水道課

○上下水道において、台風19号により被災した水道施設の災害復旧事業を進めるとともに、市民の生活に欠かすことのできない水道事業として、安全で良質な水を安定供給されるよう万全を期す対策を検討されたい。また、引き続き漏水調査を実施され、有収率向上に努力されたい。

○下水道において、下水道加入促進の普及啓発を行い、水洗化率向上に努められたい。また、合併浄化槽設置及び単独槽撤去に関する制度周知に努められ、計画どおり事業が実施されるよう取り組みられたい。

主な質疑

3月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

那須烏山市予防接種健康被害調査委員会設置及び運営条例の制定について

議員 委員会の構成及び運営状況について伺う。

答弁 委員は4人で、構成委員は副市長、栃木県北保健所の所長、南那須医師会推薦医師、那須烏山市医師団推薦医師で構成されている。委員会の開会は、実際に健康被害が発生した場合のみ開会するため、事故等が無ければ開くことはない。

那須烏山市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

議員 非常勤特別職の社会福祉委員を廃止することであるが、社会福祉委員は、民生委員・児童委員をあてていたが、廃止後、報酬、費用弁償はどうなるのか、またその根拠は何か。

答弁 支給の根拠は、那須烏山市民生委員児童委員活動費交付規則を制定し、それに基づき活動費として交付する予定。金額については、現行と同じ金額を考えている。なお、社会福祉委員を廃止しても、民生委員の活動内容に変更はない。

那須烏山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議員 改正規定に該当する家庭的保育事業者は市内に3カ所とのことであるが児童数は何人か伺う。

答弁 南大和久の小規模保育事業所「ゆうゆうランド」が14人。下那須烏山園が14人。宮原の小規模保育事業所「キッズランドあさひ」が15人。滝田の事業所内保育事業所「みらいのKaze」保育園が10人となっている。

議員 これから新たに設置予定の施設はあるのか伺う。

答弁 鴻野山に今年6月開園予定の保育園、三箇に令和3年2月開園予定の保育園がある。

那須烏山市道の構造の技術的基準及び道路標識の寸法に関する条例の一部改正について

議員 条例の改正により、新設、改築する本市の市道にも自転車通行帯を設けるとのことであるが、今後、自転車通行帯をどのように整備していくのか伺う。

答弁 今後、60キロ制限の幹線道路については、路側帯に自転車通行帯を設



自転車通行帯を設置した県道

令和2年度当初予算に関する総括質疑

議員 シティプロモーション事業、SNS等による情報発信強化策について伺う。

答弁 JR烏山線といえば七福神、七福神は7名。インスタグラム等を駆使できる特殊能力を持った7名の市民等を活用しながらSNSによる情報発信をしていく事業である。

議員 新生児聴覚検査とロタウイルスワクチンの接種は現物給付なのか伺う。

答弁 新生児聴覚検査費は現物給付となる。ロタウイルスワクチン接種費は令和2年7月31日までに生まれた子どもは償還払いとなり、以後は現物給付である。

答弁 遺跡の調査は、烏山城跡と長者ヶ平官衙遺跡である。

議員 妊産婦健康診査産後ケアの現在の利用者数、拡充の理由について伺う。

答弁 産後2週間健診受診者は、昨年4月から1月までに71名、産後1カ月健診受診者は90名。拡充の理由は、消費税増税に伴い、利用料金の改定があり、宿泊型が3万から4万円に、日帰り型が1万から2万円に引き上げられ、利用しやすい環境を整える目的で利用者負担を3割から2割とした。

議員 中山かほちやプランド力向上支援事業の具体的な助成内容について伺う。

答弁 学校給食用に中山かほちやペーストの提供や新規栽培、規模拡大農家に対して10㍓あたり5万円補助を出している。

議員 ホームページをリニューアルした際の管理運営について伺う。

答弁 全面リニューアルにより、見やすいレイアウトや、操作しやすくなるよう心がけた。



デジタル教科書を利用した授業風景

今後、利用時間の把握をし、健康等への影響は引き続き注意が必要である。

議員 不妊治療助成の事業内容を伺う。

答弁 不妊治療助成費は人工授精や、体外受精、顕微授精などの、保険適用外の不妊治療費で、治療費の2分の1を、県の助成額を引いた後、年間20万円を限度額とし、通算して5年まで助成する。

6月定例会は、6月2日(火)開会予定です

正式な日程は5月26日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

(TEL 0287-88-7114)

文教福祉常任委員会

研修報告

当委員会は、1月30日、31日に静岡県富士市及び神奈川県小田原市を視察しました。



富士市のユニバーサル就労支援事業の説明を受ける委員

富士市のユニバーサル就労支援事業は、働きたいのに働きづらさを抱えている全ての市民が、働きがいや生きがいを感じて過ごせる地域を目指すものです。推進条例の制定により、障がい者等の就労が促進され、事業者は業務分解により効率性を高めています。刮目すべきは「こういう人を募集していません」ではなく、「こういう特性の人の出来る仕事はありますか」という、逆転の発想にあります。

副委員長 青木 敏久

経済建設常任委員会

研修報告

当委員会は2月4日に県庁県土整備部砂防水源課及び同河川課を訪れ、県管理ダムの調整放流により豪雨増水被害を少しでも回避できるような要望しました。



母子島遊水地で整備状況を視察する委員

さらに民間管理ダムの調整放流も併せて求めました。次に委員会は茨城県筑西市を訪れ、母子島遊水地の整備状況や経緯等について視察を行いました。当地は本市を源流とする小貝川の下流に位置し昭和61年8月の洪水により家屋や農地等の浸水等甚大な被害を受けた場所です。特に小貝川と大谷川の合流地域においての災害復旧事業として国の直轄河川激甚災害対策特別緊急事業の認定となり、昭和61年度から5カ年、総事業費約208億円をかけ事業が進められました。主な事業として遊水地の整備、小貝橋の架け替え及び築堤護岸・掘削等が行われました。本市の治水対策の参考になりました。

委員長 平塚 英教

総務企画常任委員会

研修報告

当委員会は2月7日に視察研修を実施しました。



デマンド交通の説明を受ける委員

地域の公共交通手段の高齢化対応として今後ますます重要となるデマンド交通の最適運行要領を学ぶため多くの創意工夫を行っている近隣自治体の茂木町及び高根沢町を訪れました。茂木町はエリアが広いため本市同様により継ぎ制度を採用しており、乗り継ぎ場所として、もてぎふれあいの家という施設の活用や、商店街活性化のため商工会と連携し、1000円分のおでかけ券を配布する等の点が参考になりました。

委員長 小堀 道和

烏山高等学校との意見交換会

市議会では議会基本条例に基づき、市民に信頼される開かれた議会活動の一環として1月25日「烏山高等学校との意見交換会」を初めて開きました。



第2部の常任委員会における意見交換会

当日は1、3年生の19人が参加。第1部では地域課題解決型キャリア教育「烏山学」で学んだ「那須烏山のまちづくり」「ジオパーク構想Ⅲ」などの成果を発表。第2部では、各常任委員会に分かれて意見交換を行い、「なぜ議員になったのか」「災害対応策は」「人口減少対策は」などといった質問や鋭い意見が出されました。初開催となった高校生との意見交換会。若者の目線や柔軟な発想で本市の強み弱みを捉え、まちづくりへの政策提言をいただきました。議会活動を通して市政に反映できるよう取り組んでまいります。

議長 沼田 邦彦

1月臨時会

1月23日(木)に招集され、市長より提出された議案は全会一致で可決されました。その議案は左記のとおりです。

議案等	審議結果
議案第1号 令和元年度農地・農業用施設災害復旧事業の施行について	可決

報告書・要望書提出

3月30日、庁舎整備検討特別委員会はこれまでの検討結果を踏まえ「庁舎整備検討に係る中間報告書」を市長に提出しました。



川俣市長に中間報告書を手渡す久保居委員長

議場コンサートを開催しました

市民に親しまれる議会の実現及び議会の活性化を目指して、2月27日の本会議開会前に、議場コンサートを開催しました。

烏山高等学校吹奏楽部により「フルーツ三重奏『思い出は銀の笛(2番真紅のルビー、5番ブルーパステル)』、金管四重奏『FIVE BAGATELLES(1番マーチ、2番メヌエット、3番フモレスク)』」を披露していただき、議員、執行部職員ほか来場者60人が、その演奏を楽しみました。



あとながき

109億8千万円と昨年に引き続き2年連続で110億円を下回る令和2年度一般会計予算が、議会で可決し新年度がスタートしました。

老朽化した公共施設の統廃合や、庁舎整備の在り方、また昨年の台風19号で被災した公共施設、住宅や農地など課題が山積しています。各災害廃棄物集積所のごみは概ね片づいてきています。

行政と議会は車の両輪に例えられていることから、しっかりと役目を果たして参りたいと思います。

一方、全世界を脅かしている新型コロナウイルス。市民の皆様には、学校休校やイベントの自粛、中止などで多大な影響が出ており不安と感じている事と思います。安心安全な対策として社会全体の取り組みが重要だと思えます。早期の終息を願います。

(田島信二議員)

要望書は市ホームページに掲載しています。



感染症対策に関する要望書を説明する様子

